

SDGsプログラム実施レポート

No. 3「すべての人に健康と福祉を」

すべての人って？健康・福祉とは？

風邪をひいたら病院へ行き、薬をもらって安静に治す。日本では当たり前のことですが、世界では約36億人もの人々が、基本的な医療保険サービスを受けることが出来ない状態です。

毎日を安心して暮らすために、日本では当たり前にある【福祉】は世界の当たり前ではない。という現実を知り、子どもたち・指導員も、この問題に対して自分たちは何ができるのか？子どもたちと自分のこととして、考えました。

3 すべての人に
健康と福祉を



子どもたちの感想・自分たちにできる事 子どもたちからの素敵なアイデア等

自分もみんなも健康でいるために毎日ちゃんと手を洗う

病院がないなら
将来、病院を建てる
お仕事をするよ！

ペットボトルのキャップが
予防接種のワクチンになるな
んて驚き。
捨てないようにしよう。

当たり前を広げていく
そんな人になりたい。

遅くまでゲームしないようにしよう...

将来お医者さんになるから
病気になったら教えてね！

朝ごはんも給食も
残さず食べよう！

指導員の気づき

「ふくし」とは
【ふ】...ふだんの
【く】...くらしを
【し】...しあわせに
ということだ。と、以前受けた
研修を思い出しました。

コロナ禍において、毎日子ども
たちに【消毒・手洗い】を徹底
するよう指導している。そのこと
が自らの健康を守るだけでなく
周囲(みんな)の健康も守ること
になるのだと、改めて実感した。